

こうきょうみんかん ニュース

2024年 Vol.15

発行：公共サービス民間労組評議会

昨年の2024春闘討論集会にて

2025年1月 仲間に出会い・学び 春季生活闘争に臨もう

公共民間サービス労働組合評議会2025春闘討論集会

開催日：2025年1月18～19日 場所：東京・連合会館

1月18日（土）13:00～17:15

全体会

- ・主催者、来賓あいさつ
- ・組織内議員による国政報告
- ・公共民間評2025春闘方針（案）提起
- ・講演「労務費の価格転嫁は進んだのか～連合2025春闘について～（仮）」

講師：仁平章さん（連合総合政策推進局長）

夕食交流会 18:00～20:00

1月19日（土）9:00～12:00

下記4つの分科会

- ①指定管理者制度・委託契約制度の問題と課題
- ②介護・福祉職場の現状と課題
- ③こんな時どうする？
～解決方法を『見える化』してみた～
- ④共済制度を活かして組合加入につなげよう！

ご参加お待ちしております！ 裏面に詳細

初日の講演

集会のここ
に注目！

労務費の価格転嫁はいかに？

実質賃金がマイナスと言われ、物価上昇から賃上げの必要性がさらに高まっています。

初日の基調講演は、連合の仁平章総合政策推進局長（労働条件担当）を招き、労務費の価格転嫁や2025春闘の課題や方向性を問題提起いただきます。

第1分科会

指定管理者制度・委託契約制度の問題と課題

賃金スライド制度導入で 指定管理者職場の賃金改善を

原材料費や物価が高騰する一方、人件費を含む指定管理料・委託料は据え置かれたままという民間職場が多いのが現状。そんな中「賃金スライド制度」を導入し事態の改善を図っている自治体もあります。

今回は「賃金スライド制度」導入を通じて適正な賃上げと労働環境の改善を訴える全国公立文化施設協会の事務局長の岸正人さんの講演と、制度の導入や労務費の価格転嫁に取り組む2単組からの報告を受けます。



写真は2枚とも昨年の分科会にて



第2分科会

介護・福祉職場の現状と課題

福祉職場をどう守る？

昨今話題になっている隙間バイト。介護現場でも導入が進んでいますが、実際には入浴や排泄介助といった技術を要する仕事がありあてられています。また派遣職員の多用による事業所の経営破綻が問題にもなっています。福祉職場の現状がどのような事態に直面しているのかを理解し、自分たちが働く場をどのように守っていくかを、ともに議論します。

第3分科会

こんな時どうする？

～解決方法を『見える化』してみた～

ワークショップで可視化

公共民間単組は規模や課題は多様で課題の解決策や連携している団体も様々です。架空の事例を用いたワークショップを通じて、課題解決の手法や連携団体とのつながりを可視化します。昨年も大好評につき2025年版にリニューアルして戻ってきます。

第4分科会

共済制度を活かして組合加入につなげよう！

制度の理解を進め仲間を増やそう

自治労加盟により利用可能な共済制度を理解し、新たな組合員獲得のために、共済制度の知識と勧誘方法を共有し、共済加入から新たな組合加入につなげていきます。